

第187号

発行 大網白里市議会
〒299-3292
大網白里市大網115番地2
電話 0475 (70) 0390
発行人 大網白里市議会議長
小金井 勉

あなたと
議会を
つなぐ情報誌

大網白里 議会だより

小春日和の陽気に誘われて… えらびにいいこう、まちのみらい

令和5年11月12日(日)は、大網白里市議会議員一般選挙の投票日です

令和5年

第3回定例会が 開催されました

令和5年第3回定例会は、9月1日から9月27日までの27日間の会期で開催されました。

本定例会では、市長提出の議案6件と令和4年度各会計歳入歳出決算の認定1件のほか、陳情3件の審査を行いました。

議案は、すべて原案のとおり可決・認定とし、陳情2件を不採択、残る1件は継続審査としました。

また、議会運営委員会の発議案1件の提出があり、賛成総員により可決しました。

一般質問は、2日間行われ、会派代表質問の3会派・10人と個人質問の6人が登壇しました。

先の台風13号により被災された皆様方に 心からお見舞い申し上げます

当市議会といたしましても一日も早い復旧・復興に努め、防災・減災の取組みの一層の推進を求めて参ります。

■市内の主な被害(10月末現在) ・床下浸水…82件 ・床上被害…70件
・崖崩れ…6か所 ・路肩崩れ…73か所 ・通行止…13か所

市長に決議書を 提出しました

第3回定例会の最終日に田辺議会運営委員長を提出者とする決議の提案がありました。

提案理由は、近年数多く発生する台風等の災害により市内で発生する被害は停滞するインフラ整備が一因であるとして、減災対策の早期実現のため、関係各機関に対する強い働きかけと、事業の早期実施を市執行部に強く要請するものです。

採決の結果、賛成総員により可決し、閉会後直ちに金坂市長へ決議書を提出しました。

決議の内容は、3面に掲載しています。



賛成総員で可決された決議書を金坂市長へ提出する田辺議会運営委員長
(写真左から小金井議長、金坂市長、田辺委員長、秋葉副議長)

市議会HPのご案内

本市議会では、開かれた議会の取り組みとして、会議録、行政視察報告書、政務活動費の報告などをHPにて公開しております。

大網白里市HP内の市議会のページをご覧ください。また、QRコードからもアクセスできます。



主な内容

- 【決算特別委員会レポート】議会からの指摘事項 …… 2
- 【常任委員会レポート】委員会の審議内容を紹介 …… 3
- 【決議全文】 …… 3
- 【市政に対する一般質問】3会派10人 個人6人が登壇! …… 4~7
- 採決結果一覧、行政視察レポートなど …… 8

決算特別委員会審査レポート

決算特別委員会は、9月15日、19日、20日の3日間で開催され、令和4年度の一般会計歳入歳出決算などについて各担当課からの説明を聴取しながら審査を実施しました。慎重な審査の結果、令和4年度各会計歳入歳出決算についてはいずれも認定すべきものと決定しました。

決算審査報告では、各課への指摘事項に加え、歳入面において、ふるさと応援寄附金は堅調とはいえ昨年度より4割減となるなど、安定した財源の確保に向け多くの課題があること、歳出面において、令和2年3月に示された「財政健全化に向けた緊急的な取組」に基づき各種経費の節減が行われているものの、引き続き義務的経費の支出が多く、財政の弾力性を示す経常収支比率は県内ワースト1位であることなどをそれぞれ指摘。今後の行財政運営に当たっては、引き続き既存事業の抜本的な見直し、積極的な企業誘致や安定した自主財源の確保等を推し進めるとともに、事業の優先度、緊急性および効果を慎重に判断した上で適正に執行すること、また、各課は、市民ニーズを的確に捉え、費用対効果を含めた各種事業の点検、検証および分析を実施し、各種検討・改善事項について令和6年度当初予算に反映するよう要望しました。

令和4年度各会計決算収支の状況

一般会計・特別会計

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越	実質収支
一般会計	17,605,677	16,780,714	3,217	821,746
国民健康保険特別会計	5,363,511	5,261,203	0	102,308
後期高齢者医療特別会計	694,101	689,769	0	4,332
介護保険特別会計	4,680,922	4,423,717	0	257,205
介護サービス事業特別会計	23,179	23,179	0	0
土地区画整理事業特別会計	150,683	131,637	1,485	17,561

企業会計

(単位：千円)

会計名	区 分	予算現額	決算額
ガス事業会計	ガス事業収益	777,397	742,728
	ガス事業費用	777,216	721,263
	資本的収入	59,136	50,000
	資本的支出	166,278	119,403
病院事業会計	病院事業収益	2,718,973	2,670,949
	病院事業費用	2,710,121	2,664,736
	資本的収入	92,294	87,592
	資本的支出	182,073	171,997
下水道事業会計	下水道事業収益	1,714,830	1,720,584
	下水道事業費用	1,640,320	1,616,244
	資本的収入	373,152	338,693
	資本的支出	678,637	629,506

※端数の切り上げ、切り下げを行っています。

議会から各課への主な指摘事項

決算特別委員会で取りまとめた各課への主な指摘事項を抜粋して紹介します。



● 財政課

交付金等を有効活用し、自主財源確保に当たり、明確なビジョンを示し、財政の健全化に取り組みたい。

● 秘書広報課

ホームページを通じ、柔軟で迅速な広報活動の充実に努め、SNS等の利活用を引き続き推進されたい。

● 総務課および選挙管理委員会

職員の休暇取得率向上とメンタルヘルスの充実を図られたい。

● 企画政策課

自主財源確保のため、企業誘致やふるさと納税について、より一層積極的に取り組まれたい。

● 安全対策課

防災意識啓発に努め、災害時の情報集約・発信はSNS等の活用を、津波避難施設は、費用対効果を考慮してそれぞれ取り組まれたい。

● 市民課

医療費抑制のための予防活動推進とともに、マイナンバーカード取得率向上に引き続き努められたい。

● 地域づくり課

ごみの減量化、資源再利用等の効果的手法の研究や、市有バスの有効活用を検討されたい。

● 社会福祉課

生活困窮者等の就労支援や障がい者に対する生活支援および自立支援について充実を図られたい。

● 子育て支援課

保育所等の適切な運営を図るとともに、民間保育士の労働環境についても配慮されたい。

● 高齢者支援課

介護予防事業のさらなる充実と、地域包括支援センターの強化、充実にそれぞれ努められたい。

● 健康増進課

元気のある高齢者が支える側になる仕組みを検討されたい。

● 農業振興課および農業委員会

引き続き農家への支援を行い、新規就農者の増加等を通じた強い農業、づくりを目指し鋭意努力されたい。

● 商工観光課

広域連携を視野に、ホームページおよびSNS等を活用した観光プロモーション事業に取り組みたい。

● 建設課

災害を見据えた道路および河川の早急な整備と、生活道路の利便性向上と通学路の安全対策にそれぞれ努められたい。

● 都市整備課

大網駅沿道を含めたまちづくりや住宅耐震改修促進事業に積極的に取り組まれたい。

小中池公園再整備基本計画の策定に当たっては、魅力ある公園となるよう取り組まれたい。

● 下水道課

下水道事業の経営健全化と施設の長寿命化も考慮した維持管理に努められたい。

● 国保大網病院

利用者のサービス向上とともに、経営の健全化に努められたい。

● ガス事業課

ガス利用のPR促進に努め、供給戸数の確保と、引き続きガス事業の安全対策に取り組まれたい。

● 教育委員会管理課

教育環境における情報通信技術の積極的な活用に努められたい。

● 教育委員会生涯学習課

市の文化財の情報発信および保護に努められたい。

● 教育委員会生涯学習課

各種事業の開催に当たっては、創意工夫の上、適切に実施されたい。

● 教育委員会生涯学習課

各施設利用者の利便性の向上に努められたい。

委員長 土屋 忠和

副委員長 山下 豊昭

委員 引間 真理子

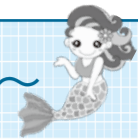
委員 中野 真修

委員 林 正清子

委員 森 建二

委員 堀本 孝雄

常任委員会審査レポート ~各委員会に付託された議案・陳情~



総務常任委員会

総務常任委員会は、9月13日と27日に開催され、13日に議案3件と陳情1件を、27日に議案1件の審査をそれぞれ行いました。

議案4件は、すべて賛成総員により原案可決とし、陳情1件は、賛成少数により不採択となりました。

●議案第1号 令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第3号) 結果：可決

概要 新型コロナウイルスワクチン秋開始接種分の経費の不足分や施設の老朽化対応のための改修等に係る補正予算(約1億3,630万円の増額)

Q&A こんな質疑がありました

問 大網小学校プール槽改修工事について、プール槽の保証や管理は。

答 経年劣化により破損したプール槽は

●議案第4号 大網白里市道の駅整備検討委員会条例の制定について 結果：可決

概要 地方自治法に基づく附属機関とし

問 新規コロナワクチン接種事業の人数は、減少を見込んだものか。

答 令和4年度秋開始接種の全国平均接種率を踏まえ見込んだ。

瑕疵担保責任の2年のみ。管理は、授業の際に教職員が水を抜いて点検していたが、コロナ禍で授業がなく点検できずだった。

問 新型コロナウイルス接種事業の人数は、減少を見込んだものか。

答 令和4年度秋開始接種の全国平均接種率を踏まえ見込んだ。

て委員会を設置するため、新たに条例を制定するもの

Q&A こんな質疑がありました

問 平成24年度策定の基本計画のあと、平成29年に道の駅の検討報告書が出されているが、その後は。

答 関係課で今後の進め方に関する会議を複数回開催し、検討している。

●議案第5号 令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第4号) 結果：可決

概要 庁舎整備改修事業の発注方式の見直しに係る補正予算(約1億8,460万円の減額)

Q&A こんな質疑がありました

問 工費は大体いくら位を見積もっているのか。

●陳情第7号 大網白里市国際交流協会の運営に関する陳情 結果：継続審査

こんな意見がありました

●市の担当課が今後協議の場を設けると言っているから、よく協議し、感情的にならずに、どうか寛容に活躍していただきたい。

●協会執行部は調査を受けても何ら恥じるべきでもなく、肅々と受けるに相当する案件だと思う。

●教育委員会から協議をしていくという前向きな姿勢がとれたので、ぜひ期待したい。

●陳情事項の履行は、更に溝が深まる懸念があるので、教育委員会設定の協議の場では、国際交流協会の原点に戻って話していただきたい。

●この陳情書が効いたと思うので、継続審査として推移を見守り、現執行部の意見も聞くのが良いと思う。

●問題の声が少なからず挙がっているのであれば、何らかの行動を市としては

答 第1期と第2期の一括工費として概ね5億円を見込んでいる。

●議案第6号 令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第5号) 結果：可決

概要 台風13号の被災対応に係る補正予算(約1億1,400万円の増額)

Q&A こんな質疑がありました

問 海岸監視塔撤去の執行はどのようにするのか。

答 事業内容を精査した上で人札執行をはじめ、適切に対応する。

●陳情第9号 政治倫理条例を制定してもらうための陳情 結果：不採択

こんな意見がありました

●信頼関係を築く趣旨で、自ら制度を作ること、非常に意味がある。

とらなければならないし、それを議員として後押ししていくこともやるべきことだろうと思う。

●陳情第8号 学校給食費の保護者負担の軽減を求める陳情 結果：採択

こんな意見がありました

●願意は妥当だと思う。

●軽減を求めることは賛成である。

●物価高騰の折、市の財政が許す限りできるだけ給食費補助を上げてあげられたい。

●また、赤目川河川改修工事についても、

●議員自らが襟を正すということは、とても大事で重要なことだと思う。

●公正な行政を実現するという気持ちは大事だと思うが、市長、副市長、教育長という枠と、議員という枠を分けて考える方がよい。

●陳情者から陳情趣旨等を聞きたい。

台風等の豪雨による減災対策のため 早期のインフラ整備等を求める決議

台風13号に伴う大雨による災害は、大網白里市山辺地区、瑞穂地区を中心に、大きな被害をもたらしました。

今なお、災害復旧に取り組まれていることについては、心より敬意を表するものであります。

しかしながら、このような災害が発生する要因の一つとしては、小中川の河川改修工事、金谷川の河川改修工事、赤目川河川改修工事、南玉の土砂崩落防止措置が足りていないことが挙げられます。

令和元年に発生した台風や大雨による災害にあっても、同じ理由から大きな被害を受けているものと考えられます。

金谷川河川改修工事については、令和4年に早期完成を求める決議をしたところですが、進捗は見られていません。

小中川河川改修についても、わずか50メートル程度の進捗となっており、十分な成果が見られません。

また、赤目川河川改修工事についても、

永田駅周辺の道路冠水や住宅地区への浸水対策に寄与するものです。

さらに、南玉の土砂崩落防止措置にあつては、対策が不十分であるために、JR外線が長期にわたり不通となるなど、市民や近隣住民の交通を麻痺させることとなりました。

このような事情から、大網白里市として、減災対策のためのインフラ整備を早期完成させるべく下記の措置を講じることとを強く求めるものである。

以上、決議する。

記

- 1 小中川河川改修工事の早期完成を千葉県等関係機関に強く求めること
 - 2 金谷川河川改修工事については地権者との交渉を進め早期完成させること
 - 3 赤目川改修工事の早期完成を千葉県等関係機関に強く求めること
 - 4 南玉の土砂崩落防止対策については、JRに強制執行を求めること
- 令和5年9月27日

令和5年第4回定例会 開会日について

大網白里市議会

次回の定例会は、令和5年11月5日告示、同日12日執行予定の大網白里市議会議員一般選挙以後に日程案を予定しますので、決定次第、市ホームページ等でご案内いたします。

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 北田 宏彦 |
| 副委員長 | 土屋 忠和 |
| 委員 | 引間 真理子 |
| 委員 | 山田 豊昭 |
| 委員 | 蛭田 公二郎 |
| 委員 | 黒須 俊隆 |

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 森 建二 |
| 副委員長 | 小倉 利昭 |
| 委員 | 林 正清子 |
| 委員 | 秋葉 好美 |
| 委員 | 堀本 孝雄 |
| 委員 | 宮間 文夫 |



冠水被害の著しかった大竹地区

大網白里市議会

次回の定例会は、令和5年11月5日告示、同日12日執行予定の大網白里市議会議員一般選挙以後に日程案を予定しますので、決定次第、市ホームページ等でご案内いたします。

会派代表質問

「本市のまじゅくり」について

創 政

北田 宏彦 議員



問 永田駅構内トイレが閉鎖され、

利用者の利便性が損なわれている事

が新聞テレビで採り上げられている

執行部は、JR東日本から永田駅

構内トイレ移譲など、継続について

相談を受けたが、民間企業であるJR

Rの構内トイレの問題を市に求める

のは筋違いであると断り、JRは構

内トイレ閉鎖に至った。

永田駅を中心とした、街づくりの

観点から構内トイレの再開に向け積

極的に支援すべきではないか。

答 若い世代を対象とした移住・定

住施策について研究をしたい。

問 旧大綱商店街の歩道の整備につ

いて

旧道を猛スピードで走る車が増え

ている。歩道も狭く歩きづらいので、

改善を図って頂きたい。

答 歩行者の安全性や利便性につい

て警察と協議を行ってまいりたい。

問 県営水道と九十九里地域水道企

業団、南房総広域水道企業団の統合

で算定されていない。

県営水道は、10立法メートル1,

040円、山武水道は、10立方メー

トル2,079円と2倍も高い。

県が目指している用水供給料金の

県内同一と山武地域の末端の水道料

金が県営水道と同一になるよう、協

議を進めて頂きたい。

問 増穂小学校の旧プレハブ校舎の

状況と撤去予定について伺いたい。

答 劣化がかなり進行しており、解

体撤去に向け協議をしていく。

問 「道の駅」について伺いたい。

答 交流拠点施設の整備が必要であ

り、課題を整理し検討を行なう。

白里地区の活性化については、大

賛成である。

なぜなら、8月1日現在、高齢化

率44.6パーセントで、超高齢化が

進んでいる。

やはり、若者が定住し、産み育て

ていくサイクルをつくらなければい

けない。しかし、道の駅は本当に白

関連質問



田辺 正弘 議員

問 永田駅トイレについて伺います

私も自民党議員による国土交通

省副大臣へ直接面会し、要望書を提

出してまいりました。市としては、

どのような対応をしていくのか、ど

こまで協力するのかお答え下さい。

答 市長自らが直接、国土交通省に

要望書を提出し、積極的にトイレの

利用再開に向けた活動を行っており

ます。また、市単独でJR東日本に

要望書を提出し、トイレの利用再開

に向けた協議を進め、双方の合意点

を見出してまいります。

問 大綱中学校歩道橋の対処および

あり方について教えて下さい。

答 点検を実施し緊急措置段階と診

断され、令和元年9月から利用を中

止しております。今後は、撤去工事

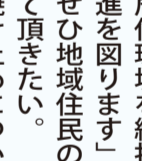
を優先してまいります。

問 教育委員会が所管する遊休土地

などは、教育財産として活用する

見込がなければ、普通財産へ。

関連質問



山下 豊昭 議員

は、今後も良好な居住環境を維持し、

住宅等の立地の促進を図ります」と

書かれています。ぜひ地域住民の話

を聞きながら進めて頂きたい。

○学校プールの日焼け止めについて

問 今の日差しは過酷。日焼け止め

クリームは進化しており、水質悪化

に繋がらない。推奨をお願いしたい。

答 会議等で紫外線対策の情報を周

知、確認し、まずは児童の健康安全

についての認識を深め、次年度の水

泳学習の実施に向けて説明してい

たいと考えております。

※その他○中学校の駐輪場、○観光

○市庁舎、について問い質しました。

問 大綱白里市の街づくりについて

①まちづくり協議会の進捗状況、②

協議会の基本方針、③今後の協議会

推進予定を含めて一大事業であり今

後10年、20年を見据えた住民の夢と

希望と安心して暮らせる大綱白里市

変革への絶好の機会です。しっかり取

組んで頂く事と併せ外房の玄関口と

個人質問



林 正清子 議員

問 先日、大綱白里市内で停電が

あったことをテレビ放送で知ること

となり、どこの地区が停電であった

のか市民の方々の問い合わせもあり、

どこの地区なのか、緊急時の共有を

図りたい。2019年の台風、大雨

被害から一層求めているもので

した。今回も防災行政無線放送での

市の対応が求められました。東京電

力との対応の余地があるか見解をお

聞かせください。

答 市では、災害時における停電に

対し、連絡体制や広報活動を行うた

めに東京電力と「災害時における停

電復旧の連携等に関する基本協定」

を締結しております。

自然災害に伴う広範囲の長時間停

電が発生した場合は、東京電力の

ホームページや広報車による広報活

動を行うこととなっておりますが、

十分な周知ができない場合、東京電

力からの要請により、市の防災行政

無線等による広報活動を行ってい

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる



林 正清子 議員

ハザードマップや、市ホームページ、

広報紙等により周知に努めておりま

すが、今後も、様々な機会を捉え、

市民の皆様へより分かりやすい情報

発信に努めてまいります。

問 亡くなった後に引き取り手のな

い人が、およそ4年で10万人を超え

ていることが国の調査で初めて分

かったそうです。終活の登録につい

て、横須賀市では様々なサービスが

行われています。その中の「わたしの

終活登録」というサービスは、大

きな費用をかけることなく、良い効

果を期待できるサービスと思われま

す。

本市でも導入を検討出来ないでし

ようか。

答 本市で行っている終活支援につ

きましては、ひとり暮らしの方や身

寄りのない方などが相談に来られた

際に、ご本人の意向をお伺いし、エ

ンディングノートの活用や、生前契

約の必要性など、その方に合った終

関連質問



森 健二 議員

○みどりが丘市有地について

問 自治会アンケートでは、スー

パーや病院、文教施設の要望。考えは

の準工業地域。地区計画で「産業の

誘導および地域・社会活動の増進に

寄与する施設等の立地を適切に誘導

する」としている。周辺の環境およ

び就業環境の形成に配慮しながら企

業誘致に努めて参りたいと考えます

問 5団地は、第6次総合計画で住

宅市街地ゾーン、「5つの住宅団地

は、今後も良好な居住環境を維持し、

住宅等の立地の促進を図ります」と

書かれています。ぜひ地域住民の話

を聞きながら進めて頂きたい。

○学校プールの日焼け止めについて

問 今の日差しは過酷。日焼け止め

クリームは進化しており、水質悪化

に繋がらない。推奨をお願いしたい。

答 会議等で紫外線対策の情報を周

知、確認し、まずは児童の健康安全

についての認識を深め、次年度の水

泳学習の実施に向けて説明してい

会派代表質問

自 民

道の駅・救急医療体制・出産子育て・家庭の支援・社会資本整備について

中野 修 議員



道の駅について

問 地元区長をはじめ各種団体との「意見交換会」および一般市民を対象とした「まちづくり座談会」で、どのような意見や要望があったのか、お聞かせください。

答 白里地域の活性化に向けた道の駅等の整備について、白里・福岡地区区長会、商工会、商工会青年部、社会福祉協議会白里支部、観光協会、水産加工協同組合、海岸地域の振興を進める会、農業委員会、朝市組合、遊楽市組合、農業研究会の11団体を対象とした意見交換会を、その後市民の方々と対象としたまちづくり座談会を開催し、ご意見をいただいたところでございます。

意見交換会や座談会では、まず市の方からは人口減少や少子高齢化が進む白里地域に1年を通して訪れることができる交流拠点施設を整備し、新たな賑わいの創設や雇用の確保、さらには観光振興などを図ることに、より地域の活性化につなげていきたいという考えをお伝えしました。

参加者の皆様からは、道の駅の整備を求めるご意見を多くいただいたほか、施設の規模や内容については、中途半端なものを作るのではなく、ほかにも、ここでしか体験できないもの、ここでしか購入できないものなど、特別感を出して、市内外からたくさんの方々が訪れる施設にしてほしいとの要望が多く挙げられました。また、施設に必要な具体的な機能としては、農産物直売所、温浴施設、海を生かした施設、ドッグラン、日常の買い物ができる施設、レストラン、子ども向けの遊戯施設、加工場、クラフトビル工場、アクティビティ施設、防災施設など様々

なご意見を出されましたが、そのほかにも各種イベントの提案や建設場所、整備後の運営等に関する意見があり、今後も多くの市民の声を耳を傾けながら検討を進めてもらいたいとの要望をいただいたところでございます。

問 意見交換会や街づくり座談会での貴重な意見等を踏まえ、今後どのように進めて行くのか伺います。

答 施設の整備については、おおむね肯定的な意見をいただきました。一方で、整備後の運営を心配する声も聞かれましたので、まずは運営収支が黒字化することを本事業を進める上での第一条件とし、民間の活力を最大限に活用できるように検討してまいります。

後につきましては、いただいたご意見や要望を踏まえ、白里地域活性化のために必要な施設の機能や規模等について、課題を整理した上で検討を進めてまいりますと考えております。

救急医療体制について

問 山武消防管内の救急隊がゼロの状況が多々発生し、近隣消防本部からの応援をいただいている状況が、非常に多く発生していると聞いております。市民の皆様は安心・安全のため、救急隊員を含めた職員の負担軽減のため、近隣消防本部への多大なるご迷惑をおかけしている状況を回避するために、早期の救急隊の増隊が必要と考えます。執行部のお考えはいかがでしょうか。

答 地域住民の安心・安全のために、山武消防管内における救急業務の充実強化に向けて取り組んでいただけてますよう山武郡市広域行政組合へ要望してまいりますと考えております。

関連質問

土屋忠和 議員



○出産・子育て家庭の支援について

問 新しく推進した出産・子育て応援交付金事業の実態をご教示下さい。

答 交付金の取組みとしては、妊娠や子育てが家庭が孤独感や不安感を感じることなく、安心して出産、子育てが出来る環境整備が喫緊の課題となっております。令和4年度の交付金の支給実績は、出産応援交付金は291名を対象に総額1,455万円を、子育て応援交付金は164名を対象に820万円を支給してまいりました。

この交付金により、出産家庭や子育ての一貫とした支援が「これからも継続して頂けるよう！」千葉県や国に対して呼びかけを要望致します。

問 本市では、出産・子育ての世帯へ「おむつ購入の支援」は御座いますか、お答え下さい。

答 おむつ購入に対する経済的な支援につきましては、現在、本市では行っておりません。

子育てをなさっているご家庭や本市を子育ての場所として選んで転入してもらえらる新婚家庭にも住み親しく、夢や希望を持たせられる施策を増やして欲しいと要望致します。

問 産後ケアと観光施設利用の支援策について質問いたします。

産後ケアは、育児の不安解消や母親の心身の疲労回復等、体調面が重要であります。本市は、群馬県中之条町と姉妹町として永きに交流を深めて参りました。その山紫水明の「四万温泉」を出産して間もない母親に湯治場として提供し、助産婦派遣のものと産後ケアをご家族で利用してもらう、市独自の観光と結びつけた支援策についてご意見を伺います。

答 今後も先進自治体の情報収集に取り組みと共に、引き続き産後ケアの充実を努めたいと考えております。

関連質問

小倉利昭 議員



問 防災対策について4点伺います。

災害発生時の市民への情報伝達は、防災行政無線やホームページ、防災メール、ヤフー防災、エックス(旧ツイッター)等多方面にあるが、防災行政無線の聞こえにくい場合やスマホのない方にはどうするか。

答 屋内用個別受信機の貸与やテレビから防災情報を見ることが出来るアラートの活用が効果的であり、広く周知に努めてまいります。

問 次に、停電の主な原因は、道路沿いの樹木の倒木であると思うが、前回の答弁で倒木の発生を未然に防ぐために市道沿いの私有地の伐採を行うとあったが、具体的にどこか。

答 伐採はまだ行っておりませんが、倒木時に電線に触れるおそれのある86か所を抽出しました。

また、平常時から事前伐採すること、電線の断線を未然に防ぐ効果が期待できるので、広報紙やホームページで周知してまいります。

問 次に、断水について

飲料水の応急給水マニュアルとは何か、また、生活用水に使える防災井戸は何か所あり、どこにあるか。

答 応急給水マニュアルは、市民へ飲料水の供給活動を整理したもので、場所は市役所、運動広場、農村環境改善センターで、供給量は一人一日3リットルを目安にしています。

また、防災井戸は、中央公民館や小中学校など、市内26か所に設置しております。

問 最後に、避難場所と避難所の違いを伺いたい。

答 避難場所は、災害発生時に危険から逃れる場所、現在34か所あり、中央公民館、小中学校や公園、広場、神社など。避難所は、避難した住民が危険がなくなるまで滞在する施設。

個人質問

早期のエレベーター設置と、民間施設の利用で庁舎整備計画の縮小・見直しを！

黒須 俊隆 議員



問 本庁舎の大型増改築が進められている中、4期に分けられた工事計画の1期工事は入札結果が議会で承認されなかった。入札結果の透明性・公正性への疑問が主な否決の理由だと思われるが、物価高を考慮しても不自然に高い価格に大きな問題があるとは考えます。財政的にままならない状況で対策があるのか。

答 市役所本庁舎の整備については、第1期工事として予定していた耐震構造等改修工事に係る本契約が締結に至らなかったことから、速やかに事業を再開し進捗させるためにも、全体を4期に分けて実施する従来の計画から、まずは第1期工事と第2期工事を併せて発注する方法に見直し、実施したいと考えております。

これは従来の整備方針が段階的に進めていくことを基本としていること、また、去る令和3年市議会第4回定例会において、エレベーター設置に関する陳情が採択された趣旨等を踏まえ、建物構造上の抜本的な改善と各種設備の早急な改修を内容とする第1期工事と、第2期工事として予定するエレベーターの設置や、老朽化が著しいトイレの改修などを併せて行うことにより、工事費用の抑制と工期の短縮が図られるものと判断したところであります。

問 私は令和2年以降、エレベーターについては一刻も早く工事を行うこと、また、エレベーター工事まで一括で行うことで事業費が削減、工期の短縮も図れることなど、本会議だけでも7回にわたって発言しております。中之条町のエレベーター改築の話、また、バリアフリー法の趣旨、千葉県内の3階以上の市役所でエレベーターがないのは本市だけ、

このような事例を取り上げて、市に對して、説得を試みてきたわけですが、これまで財政課長の答弁では、「エレベーター工事まで必要な工事はやらない」と答弁し、エレベーター工事等2期工事までを一括で行うことをかたく否定してまいりました。

今回の市の提案は、黒須が4年にまたがって提案してきたとおりになったということです。この3年数か月間、市は一体何をしてきたのか、大いに反省をしていただきたい。

仮に一括して行われる1期工事、2期工事が順調に進んでいくとすれば、3期工事、4期工事はどのようなになりますか。前回の一般質問で提案したように、例えば図書室を民間施設に移動して、保健文化センターの空いたスペースに市役所を拡大し、増改築工事を大幅に延期する、あるいは見直すことなどは考えられないでしょうか。10数億円かけて改築しても、改築していない残りの大部分は古いまます。そうなるともた10年とか経つと、改築しなかったところが古くなる。この古いまま決して新しくなるわけはありません。数十年単位で維持費とか増改築の費用を計算して、その上で再度進めることを提案します。

答 従前の第3期および第4期工事についても、工事費や工期的な観点から一括発注を今のところ予定しておりますが、まずは今回見直し後の整備方針に基づき耐震構造、雨漏り、トイレの改修ならびにエレベーター設置を着実に実施するとともに、今後における工事の進捗状況を考慮しながら、慎重かつ的確な対応に努めてまいります。

会派代表質問

市民の皆様への安全・安心を守り
住み続けたいまちづくりを目指し

公明党

引問 真理子 議員



問 体育館の避難所環境について
近年全国的に猛暑が厳しく冷房機
器も含め、学校施設の防災機能強化
が各自治体に求められております。
どのような対応を考えているのか
伺います。

答 小・中学校体育館を避難所とし
た場合の熱中症対策としましては、
現状では風通しをよくするための扇
風機設置や小まめな水分補給を避難
者に呼びかけることとしております。
なお、高齢者や乳幼児など避難者
等の状況を勘案し各避難所の施設管
理者と協議の上、エアコンが使用可
能な教室を利用することとしてます。

また、災害の規模に応じて優先し
て開設する中央公民館や保健文化セ
ンター、大網白里アリーナ、中部コ
ミュニティセンター、白里公民館に
は空調および非常用電源設備が設置
されておりますが、異常気象による
災害が懸念される中、避難所の開設
運営については、状況を踏まえつつ
適切に対応してまいります。

問 応急給水栓の設置について
大規模な災害などが発生した際、
大きな問題となるのが水の確保です。
東日本大震災でも被災された多く
の方が水を求め、給水所に長時間並
ぶことを余儀なくされました。

本市でも4年前の台風災害にはポ
ンプ車が出動しましたが、高齢者の
方は給水所が遠く取りに行けず、指
定避難所の小・中学校に応急給水栓
を整備している自治体では、災害時
には非常に有効なものと考えます。

市内小・中学校受水槽への応急給
水栓の設置について伺います。
答 市内の水道施設が通常通りの給
水が行えない場合においては、大網
白里市応急給水マニュアルにより市

関連質問

秋葉好美 議員



問 市職員の心の健康・メンタルヘ
ルスについて伺います。

①ストレスチェックやストレス予
防、また産業医等の体制について、
②メンタルヘルス不調について、③
メンタルケアの必要性について、以
上3点についてお聞かせ下さい。

答 正規職員および勤務時間が週29
時間以上の会計年度任用職員を対象
に年1回ストレスチェックを実施し
ています。ストレスチェックの結果
高ストレスと判定された職員につい
ては、産業医による面接指導を受け
るよう推奨し、千葉市町村職員組
合や厚生労働省などが設置する相談
窓口を紹介して早い段階で相談する
よう周知を図っております。そのほ
か、時間外勤務が1か月平均80時間
を超える長時間労働を行った職員に
ついて、産業医による面接指導の
推奨を実施しており、長時間労働に
伴うストレスの軽減、ストレスに伴
う心身の不調を予防する体制の構築
を図っております。なお、産業医に
つきましては、法令に基づき、衛生
委員会の委員として、職場巡視によ
る労働環境の改善、専門的知識に基
づき助言を頂いております。

続いて、メンタルヘルス不調への
対応ですが、効果的な対応を図るこ
とを目的に、本年3月にメンタルヘ
ルス不調者への対応方法をまとめた
冊子を、各課に配布し早い段階で対
応してまいります。

最後に、メンタルケアの必要性に
ついては、行政課題に的確に対応し
市民ニーズに応え、職員1人ひとり
の能力を十分発揮し、心の健康づく
りが重要であると認識しております。
その他、市職員の働き方改革につ
いて、社会教育施設と社会体育施設
について質問をさせて頂きました。

問 広報紙の新聞折込み部数、郵便
配達部数、公共施設への配布部数に
ついて
答 新聞折込みが10,835部、
郵送による配布が約400部、公共
施設や大網駅、スーパー等への備え
置きが、約2,600部です。

関連質問

上代和利 議員



問 広報紙の新聞折込み部数、郵便
配達部数、公共施設への配布部数に
ついて

答 新聞折込みが10,835部、
郵送による配布が約400部、公共
施設や大網駅、スーパー等への備え
置きが、約2,600部です。

問 広報全戸配布について
答 新聞購読者が年々減少してきて
いる中、全戸配布は、全ての世帯に
届けることができる配布方法である
と認識しております。
ポスティングによる全戸配布につ
いては、コスト面の課題と共に、配
布完了までに数日を要することなど
から、実現に至っていません。

広報紙については、新聞折込み、
施設の備え置きなどのほかにも、多
くの選択肢の中から利用者の方々が
最適な方法で情報が入手できること
が好ましいと捉えており、全戸配布
についても引き続き研究していきたく
と考えています。

その一方で、近年ではスマート
フォン、タブレット等の端末が普及
してきていることから、将来的には、
現在の紙媒体の情報提供から、電子
媒体を主体とした情報提供への移行
について検討を進めてまいります。

他に、子ども議会再開について、
白里海岸の観光プロモーションにつ
いて、産業道路の植樹帯の植栽活動
について、空いている植樹帯に対し
ての考え方について、軟骨伝導技術
を用いたイヤホンの市役所窓口設置
について質問させて頂きました。



個人質問

市役所や議員は、市民ひとり一人の
幸せのために存在しているのだ

石渡登志男 議員



議員になってからもうすぐで12年。
そういう中において、石渡とお通
信は平成23年12月から発行し続け、
8月末現在で「第552号」となっ
た。今では数百部という通信を市民
の方々が読みになっている。この
12年間、通信にて私の1週間ごとの
議員活動や徹底した市の情報開示を
市民の皆様方にお伝えしてきた。

問 防災対策について、災害時の避
難生活における段ボールベッド数は
どうなっているのか。自前で用意す
べきと思うがそれについてはどうか。
答 現在市が備蓄している段ボール
ベッド数は5個です。災害時におけ
る確保ですが段ボール事業者と締結
しました。段ボールベッドの追加購
入は今後検討したいと考えています。

段ボールベッドは自前でもっと用
意が必要。業者と締結していても課
題が多くすぐに使えない。市民は4
万8千人以上いるのに、たったの5
個、心許ない。そこまで言うのには
理由がある。委員会の視察で行った
広島県の土砂災害において、ある避
難所生活の23人を検診した結果、65
歳以上の6人に血栓が見つかったと
いう。これが移動し脳の血管に詰ま
れば脳梗塞となるが、段ボールベッ
ドはそれを防止できる。災害で助
かって、避難所で亡くなるというこ
とは絶対あってはならない。本市に
5個しかない段ボールベッドはもっ
と増やしていくべきだ。

問 高齢者の見守り活動はどのよう
に行っているのか。
答 専門職員による見守りや、緊急
時の対応に不安を持っている方に対
しては「緊急通報装置」を貸与して
います。

問 では「緊急通報装置」をご利用
している人数は。また、どのように
市民にお知らせしているのか。
答 現在262台を貸与しています。
広報紙や窓口でのパンフレットの配
布等々、より多くの方に周知したい
と考えています。

どんなにいいものでも高ければだ
めだ。本市の場合、安い。住民税が
非課税の高齢者ならば月に200円、
課税の方でも400円。ボタンを
押すだけでサポートセンターへつな
がり救急車の手配や、また連絡が取
れない場合は警備員が自宅に駆けつ
け安否確認を行ってくれる。
私はもっとご利用していただくべ
きだと思っておりますので、担当課も努
力していただきたい。

問 ヤードについてだが、千葉県が
その数全国トップであり、約43パー
セントを占めている。本市は駐車場
の街、太陽光発電の街、さらに注意
しないとヤードの街になり兼ねない。
法律に基づいて行っているればよいが、
業者によっては問題もある。
本市には主だったヤードは何か所
あるか、さらに市民からのクレーム
や法律違反の対応はどうなのか。
答 市内に5か所把握しています。

市民からは焼却行為、屋外での不適
切保管、騒音や振動への不安の音が
寄せられています。廃棄物処理法に
基づく指導を行っていますが、騒音
や振動については明確な法規制がな
いので、現地確認をし、山武地域振
興事務所と情報共有しています。
千葉市は県警と組み、指導強化を
図った。市民から何かクレームが
あったら真摯に対応していただきた
い。さらに、ヤードに関する条例制
定も検討すべきだ。住民の生活環境
が破壊されてはいけないのだ。

個人質問

教育は国家の根幹である！

宮間 文夫 議員



問 学校現場の現状について

答 学校に配置される教員数は、公立小中義務教育学校定数配置基準により定められており、標準学級として令和5年度は小学校1年生から4年生までは1クラス35人、小学校5年生から中学校3年生までは1クラス40人を基準として、各学級に担任1名が県費負担教職員として配置されることとなっております。また、学級担任のほかには定数配置基準に則った増置教員、教育委員会や各校からの要望を基に様々な条件に応じて配置される加配教員や派遣職員のほか、校長、教頭、養護教諭、栄養職員、事務職員が配置されることとなっております。

本市の小・中学校では、現在この定数配置基準に則った教職員が適切に配置され、定数を満たしているところですが、また、教職員を退職された方々が講師として教壇に立っていただいている状況もあります。充実した教育活動を展開していくために今後も有能な教育人材の確保を目指して、市教育委員会としても県教育委員会等と連携して取り組んでまいりたいと考えております。

問 市の予算で会計年度任用職員を雇用することについて

答 市では、県費負担教職員を補助し、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して学習活動上のサポートや学校における日常生活動作の介助を行う特別支援教育支援員を配置しております。

この支援員の存在は、子どもたちにとって安心して学習や学校生活に取り組みることができるように、教職員にとっても役割を分担することで、より効果的な授業が展開できる

など、良好な成果を上げているものと認識しているところでございます。なお、支援員の配置につきましては、学校からも増員してほしいとの要望をいただいていることから、今年度は昨年の21名から3名増員し、現在、24名の支援員を採用し、市内の全小学校に二ノスに定数で配置しているところでございます。

このほか市では、市内中学校3校に子どもと親の相談員を1名ずつ配置し、生徒や保護者からの相談を受けたり、適切な助言をするなど、中学校生活が円滑に行われるよう支援を行っております。

不登校やいじめなどの未然防止と早期対応を図るため、様々な悩みを持つ子どもたちに寄り添うことで、生徒指導の面からも効果的な役割を担っているところでございます。また、外国人の外国語指導助手、いわゆるALT4名を派遣契約し、小・中学校の英語指導の充実のために各小・中学校で活用しております。

問 大型商業施設との連携について

答 大型商業施設内に図書室を移転してはどうかのご質問でございますが、図書館として利用可能な面積や静粛性があるか、書架や書籍の重さによる床の耐荷重があるかなど、移転先が図書機能を有しているかといった課題があります。また、図書館の運営、体制などの見直しだけでなく市役所の組織改革等も考慮し、研究してまいります。

このほか市では、市内中学校3校に子どもと親の相談員を1名ずつ配置し、生徒や保護者からの相談を受けたり、適切な助言をするなど、中学校生活が円滑に行われるよう支援を行っております。

個人質問

- ①公共交通
- ②介護保険
- ③永田駅
- ④水道料金
- ⑤新ごみ焼却施設

蛭田 公二郎 議員



①公共交通

問 市が行った公共交通のアンケートに際して、市は、燃料費の高騰などで維持が大変だというふうになっている。では、市の財政支出は一体どれ程大変なのか。コミバスとはバス、それぞれごとの令和4年度の委託料、収入としての運賃収入、国庫補助金など、内訳について説明いただきたい。

答 はじめに増穂コミュニティバスは、運賃経費となる委託料1,845万4,000円と印刷製本費3万7,000円の支出合計1,849万1,000円に対し、運賃収入が472万8,000円、国庫補助金が721万4,000円、特別交付税が629万6,000円、広告収入が14万7,000円、合計で1,838万5,000円の収入があったことから、市の実質的な負担額は10万6,000円程度になります。

問 大型商業施設との連携について

答 大型商業施設内に図書室を移転してはどうかのご質問でございますが、図書館として利用可能な面積や静粛性があるか、書架や書籍の重さによる床の耐荷重があるかなど、移転先が図書機能を有しているかといった課題があります。また、図書館の運営、体制などの見直しだけでなく市役所の組織改革等も考慮し、研究してまいります。

このほか市では、市内中学校3校に子どもと親の相談員を1名ずつ配置し、生徒や保護者からの相談を受けたり、適切な助言をするなど、中学校生活が円滑に行われるよう支援を行っております。

個人質問

郷土偉人の顕彰と市の文化資産を融合させた新しい観光地づくり

岡田 憲二 議員



問 十枝の森入口にある百坪の市有地を駐車場にと、検討するようにお願いいたしました。どこまで進捗しておりますか。

答 7月に関係各課を集め、整備に関する検討会議を開催し、駐車場整備に必要な境界確定測量、十枝の森に関する整備計画の作成、農地転用手続など、円滑な事務作業となるよう各種申請等に係る内容を確認したところであります。

問 篆刻界の巨匠の石井雙石翁は主に官公庁関係の印章を手がけ、昭和38年紫綬褒章、同40年に勲四等旭日小綬章を授与されております。奇しくも十枝の森入口に、もう一人の本市の偉人たる十枝雄三翁の胸像が建てられており、そこからすぐに石井雙石翁の顕彰碑が建っています。これを一つに融合して、周辺を整備し、きれいにすれば良い観光地になると私の主張するところでありますが、市側はどのように考えますか。

答 顕彰碑周辺の維持管理を行っておりますが、樹木が生い茂り、県道正気茂原線を往來する車両からも顕彰碑が見えづらい状態となっているため、樹木の枝打ちなどを実施し、名所として良好な景観整備に努めてまいりたいと考えております。

問 顕彰碑と十枝の森の一体的な活用について

答 顕彰碑と十枝の森の一体的な活用については、隣接する顕彰碑と十枝の森の2つの文化資産を一体的に活用していくため、どのような活用方法が効果的であるかなどの検討を行うとともに、駐車場の整備につきましても、十枝の森入口の市有地を活用した場合と、現在の駐車場を整備した場合の費用比較、来訪者の利便性、安全性などの検証や課題を整理した上で、有用性のある駐車場整備

を検討してまいります。問 石井雙石翁の顕彰碑と十枝の森に行く間の道を整備することが必要と考えますか。答 現在の駐車場を整備する場合、駐車場の整備期間が短縮できたり、費用を抑えたりすることが可能であると考えられます。その際、現在の駐車場から十枝の森へのアクセス道の整備として、スロープの設置や橋の架け替え、案内看板の設置なども必要であると考えます。



石井雙石顕彰碑 (平成11年建立)

問 石井雙石翁の顕彰碑から舗装されているところを越えて十枝の森に入るわけであるが、道らしきものはあるが、整備されていない。木材をチップ状にしたものを敷き詰めて整備すれば、十枝の森の景観に融合した良いところになると思っております。市側の考えはどうか。

答 議員ご提案のとおり、ウッドチップ等を敷くことで景観を損なわず、来訪者の動線としても有効であると考えます。

令和5年市議会第3回定例会 採決結果一覧

出席議員の総員が賛成した議案等

議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
2	令和5年度大網白里市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可	6	令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第5号)	可
3	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	発議案第1号	台風等の豪雨による減災対策のため早期のインフラ整備等を求める決議について	可
5	令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第4号)	可	※「陳情第7号 大網白里市国際交流協会運営に関する陳情」は、文教福祉常任委員会において継続審査となりました。		

賛否が分かれた議案等

議案番号	件名	結果	議員名														賛成					
			土屋 忠和	引間 真理子	上代 和利	中野 修	林 正清子	山下 豊昭	森 建二	小倉 利昭	蛭田 公二郎	小金井 勉	北田 宏彦	石渡 登志男	田辺 正弘	秋葉 好美		堀本 孝雄	宮間 文夫	黒須 俊隆	岡田 憲二	
認定第1号	令和4年度大網白里市各会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
議案第1号	令和5年度大網白里市一般会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14
議案第4号	大網白里市道の駅整備検討委員会条例の制定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14
陳情第8号	学校給食費の保護者負担の軽減を求める陳情	不	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	7
陳情第9号	政治倫理条例を制定してもらうための陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	5

行政視察レポート

各常任委員会が所掌する事務事業に係る調査・研究のため、総務常任委員会、文教福祉常任委員会および産業建設常任委員会による市議会三常任委員会合同行政視察を行いました。

7/4 北海道旭川市

- ①移住・定住施策について
- ②空き家対策について
- ③ICTパークについて

①移住・定住施策

東京23区から旭川市へ移住し、就業または起業する方等を対象に移住支援金を支給するもの、旭川郊外の江丹別地域への移住促進のため、住宅購入費の一部を補助するもの、また、移住生活体験として、旭川嵐山移住生活体験住宅を賃貸で提供するなどの取り組みが行われている。



②空き家対策

独自の施策として、司法書士会や宅建協会と協定を締結し、相続登記、土地の利活用等に関する相談や情報提供を実施しているほか、旭川空き家対策連絡会議を活用し関係部局での情報共有や連携により空き家対策に取り組まれている。

③ICTパーク

「ICT人材や事業の育成・誘致」という行政課題の解決を目標として、映画館であった旭川国民劇場をベースにeスポーツイベントだけでなくプログラミング教室やVR映像体験などの複合的な目的に対応した施設として「ICTパーク」を整備。

旭川市や周辺自治体では、ICT企業の誘致に人材不足が生じていることや活躍の場がないことによる人材の都市部への流出というミスマッチの状況も起こっている。

7/5 北海道富良野市

- 子ども・子育て支援施策について

富良野市は、合併により教育機関が集まった経緯があり、教育委員会に属することも未来課において、「すべての子どもたちのために」をキャッチフレーズに子ども、子育て支援されている方々に寄り添っている。「子どもの権利を守る」に重きを置き子育て支援に取り組み、雨の日でも利用でき、子育てで孤立しないことを目的とした子どもの遊ぶ場を庁舎ロビー横に設けており、毎月300人を超えるニーズがある。



宮城県気仙沼市議会 総務教育常任委員会の皆さん

令和5年8月10日、宮城県気仙沼市議会総務教育常任委員会の方々から行政視察のため訪問されました。秋葉副議長の歓迎あいさつのち、視察テーマ「民間施設への避難階段整備について」として、安全対策担当者から東日本大震災以後の本市の防災対策の説明と避難階段の現地視察が行われました。



議会日誌

令和5年(8月)

- 10日 宮城県気仙沼市議会総務教育常任委員会行政視察
- 25日 議会運営委員会、全員協議会

9月

- 1日 市議会第3回定例会 開会
- 6日 決算特別委員会
- 7日 一般質問 3会派10人 個人1人
- 7日 一般質問 個人5人
- 13日 議会運営委員会・全員協議会
- 13日 議案質疑・委員会付託
- 13日 総務常任委員会
- 14日 文教福祉常任委員会
- 15日 決算特別委員会
- 19日・20日 決算特別委員会
- 27日 議会運営委員会・全員協議会
- 27日 総務常任委員会
- 4日 市議会第3回定例会 閉会

10月

- 4日 議会だより編集委員会

請願・陳情の受付

請願・陳情は、議会事務局において随時受付しています。議会に提出された請願・陳情は、その内容を所管する常任委員会等での審査を経て、本会議で採択の可否を決定します。なお、本会議での採決の結果は、提出者にお知らせします。また、採択となった請願や陳情については、市長など関係機関に送付しています。

※ 令和5年第4回定例会で審査される請願・陳情は、11月24日(金)午後5時まで受け付けます。

編集後記

千年猛暑と名付けられたくらいに勢いが強く続いた夏もようやく終わり、田畑に吹く清々しい風や道端の草むらで鳴いている虫たちの合唱やまちの木々など、秋の気配を感じる季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。令和5年第3回定例会が終了しました。この議会だより編集委員会のメンバーでの編集作業は、今回第187号が最後となりました。我々は、開かれた議会を目指し、市民の皆様に分かりやすい「議会だより」をお届けすることに心がけて参りました。これまで市民の皆様を支えていただきながら、一緒に「議会だより」を作ってきた想いが、御座います。年4回の定例会の報告便をご愛読いただきまして、心から感謝申し上げます。ありがとうございます。 土屋 忠和

市議会は、1年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。議会だよりでは、各定例会の審議内容や一般質問の内容等をお知らせしていますが、紙面の都合上、すべてを掲載することができません。本会議の内容を詳しくご覧になりたい方は、市役所本庁舎1階情報コーナーまたは図書室(保健文化センター2階、中部コミュニケーションセンター、白里公民館)で会議録をご確認ください。

議会だより編集委員会

- 委員長 上代 和利
- 副委員長 山下 豊昭
- 委員 土屋 忠和
- 委員 蛭田 公二郎
- 委員 堀本 孝雄
- 議会事務局 Tel (70)0390